

令和7年度 学校経営計画書

学校番号	71	学 校 名	浜松西高等学校	校 長 名	中村 泰子
------	----	-------	---------	-------	-------

1 目指す学校像

(1) 校訓

知（高い知性）・仁（豊かな心）・勇（たくましい力）

(2) スクール・ミッション（教育目標）

進取の精神に富む国際都市・浜松における中高一貫教育及び高校教育の拠点校として、すべての教育活動を通して、生徒に高い知性、豊かな心、たくましい力を育み、社会貢献への高い志を持つ人材及び国際社会のリーダーとして輝く人材の育成を目指す。

(3) スクール・ポリシー

グラデュエーション・ポリシー	カリキュラム・ポリシー	アドミッション・ポリシー
①生涯にわたって学び続け、自らの知性を人々のため、社会のため、世界のために生かそうとする意欲を持つ人 ②現代社会の様々な課題を認識し、主体的に解決しようとする意欲を持つ人 ③リーダーシップと行動力を兼ね備え、地域社会、国際社会において活躍しようとする意欲を持つ人	①「高い知性」を身に付けるため、生徒の知的好奇心、探究心を大切にし、知識・技能、思考力、表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。 ②「豊かな心」を身に付けるため、様々な教育活動を通して、生徒の人間性、創造力、リーダーシップを育成する。 ③「たくましい力」を身に付けるため、生徒による様々な取組を通して、行動力、主体性、自律心を育成する。	①主体的に学習に取り組み、本校での学習に必要な学力を身に付けている人 ②地域社会・国際社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲がある人 ③生徒会活動、学校行事、探究活動、部活動等に積極的に取り組もうとする意欲がある人 ④自らの目標の実現に向けて、粘り強く取り組もうとする意欲がある人

【生徒が身に付けたい10の力】

知：知識・技能、思考力、表現力

勇：行動力、主体性、自律心

仁：人間性、創造力、リーダーシップ

統合：課題発見解決能力

(4) 目標具現化の柱

ア 知的好奇心・探究心を大切にし、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。

イ 地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。

ウ 生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。

エ 自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。

オ 目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。

カ 系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。

キ 生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める

ク 「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。

ケ コンプライアンスの遵守に配慮するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。

コ 教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。

2 本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
ア	知的好奇心・探究心を大切にし、幅広い知識・思考力・表現力等、未来に生きる確かな学力を育成する。	○年間指導計画に基づく効果的な授業と指導の充実に努める。 ○「よくわかり力の付く授業」を行うとともに、生徒の真摯な学習態度の育成を図る。 ○「生徒は何ができるようになるか」が明確な授業を行う。 ○家庭学習を質・量ともに充実させ、授業→復習という習慣を身に付けさせ、主体的な学習習慣を確立させる。	○「授業の内容がよく分かる」80%以上 ○「授業は学力を伸ばすことに十分役立っている」80%以上 ○「家庭学習が充実している」80%以上 ○「授業→復習の学習サイクルが確立できている」数英各70%以上	教務課 各学年 各教科
		○学習活動に利用しやすい図書館運営を行う。 ○的確で迅速な図書の選定と生徒・職員への広報活動を行う。	○「本校の図書館を月1回以上利用している」50%以上 ○「毎日のように読書をしている」50%以上	図書・情報課
イ	地域社会・国際社会のリーダーとして必要なコミュニケーション能力・高い倫理観等の資質・能力を育成する。	○ICTを積極的に活用するとともに、主体的な学びと対話を重視した学びを充実させる。 ○コミュニケーション能力を高めるため、ペアワークやグループワークなどを通じて、自分の意見を述べたり相手の意見を聞いたりする機会、発表を行う機会などを増やす。	○「興味や関心を喚起される授業が行われている」80%以上 ○「自分の意見を相手にはっきり伝えることができる」80%以上 ○「相手の意見をしっかりと受け止めることができる」80%以上	教務課 生徒課 各教科 各学年
		○授業、特別活動、部活動等において、生徒一人一人が役割を持ち、責任を持って取り組むことで、行動力、主体性、自律心を育む。	○「自分から進んで行動できる」80%以上 ○「学校生活に満足している」80%以上	
ウ	生命に対する畏敬の念や異なる人々を受け入れる優しさを育てるとともに、防災や安全に関する意識を高める。	○思春期セミナー、薬学講座、献血を実施する。 ○生徒が相談しやすい環境を作る。 ○スクールカウンセラーとの密接な情報交換を行う。	○「自他の生命の大切さについて、主体的に考えている」80%以上 ○「学校において悩み等を相談する方法や場所を知っている」90%以上	生徒課 保健課
		○大規模地震に対応する能力を育てるための防災教育の充実を図り、防災マニュアルポケット版を常時携帯させる。 ○大規模災害発生後の残留生徒・避難住民への対応の諸課題を整理し体制を整備する。 ○交通安全教室、街頭指導を実施する。	○防災マニュアルポケット版の携帯率100% ○防災に関する職員研修を実施。 ○交通マナーに関する苦情0件、交通事故0件	総務課 生徒課

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
エ	自分の幸福を追求するだけでなく、社会の発展に積極的に貢献しようとする意欲をもつ生徒を育てる。	○ボランティア体験活動への参加を奨励する。また、職場見学・体験、研修旅行等を通して社会と自己との関わりに関心を持たせ、奉仕の精神を涵養する。	○「ボランティア活動や地域の活動に参加した」70%以上	進路課 生徒課 各学年
		○「浜西探究プログラム」の実施を通じて、文理の枠を超えて人類の未来、地域の未来を考える機会を増やす。 ○探究学習を通じて、課題発見解決能力及び進路意識を高める。 ○様々な立場の方と交流することを通じて、生徒は相手の立場や考えを踏まえて行動することができる。	○「フィールドスタディ・プログラムに満足している」80%以上 ○「大学での学びに興味関心が高まった」80%以上 ○「探究学習は、課題発見解決能力の向上や、自己の進路選択に役立っている」80%以上 ○「相手の立場や意見を尊重している」90%以上	
		○爽やかな挨拶、正しい服装、時間厳守等の基本的な生活習慣の定着とマナーの向上を図る。 ○礼儀やマナー、服装等の指導を共通理解の下に行う。 ○挨拶＋一言の声掛けを励行する。	○「校則等の決まりを守って生活している」90%以上 ○「規則正しい生活をしている」90%以上 ○「近所や知り合いの人にあいさつをしている」90%以上	
オ	目標の実現に粘り強く取り組むたくましい心と体を育成するとともに、生徒の主体的な取組を通して自主・自律の精神を育み、生徒が主役の明るく規律ある学校づくりを進める。	○文化祭、コーラスコンクール、体育祭等において、自主的運営を生徒に促す指導を行う。	○「学校行事に積極的に取り組んでいる」80%以上	生徒課 保健課 各学年
		○人間関係づくりプログラムを学年ごとに実施し、人間関係の構築を図るとともに、生徒が安心・安全な学校生活を送ることができるようにする。	○「学校が楽しい」90%以上 ○「学校において人間関係は良好である」90%以上	

様式第 1 号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
		○清掃に一生懸命取り組むように指導する。 ○特別清掃日を設定し、環境整備活動を実施することで、学び舎を清潔にし、明るい雰囲気を作る。	○「校内美化（清掃等）に前向きに取り組んでいる」 90%以上	
カ	系統的・組織的な進路指導を通して、一人一人の夢と志を可能とする進路を実現する。	○確かな志・職業観を育む活動を計画的に実施する。 ・進路講演会、大学レクチャー、大学キャンパス巡り ・オープンキャンパス、西山台チャレンジサポート事業の参加奨励 ○進路資料・進路便りを発行し、ホームルームで活用する。 ○進路室等の整備を行い、掲示物を充実させる。	○高2 末までにオープンキャンパス参加者 80%以上 ○「大学教授などの外部の方から話を聞くことで進路意識が高まっている」 80%以上 ○「西山台チャレンジサポート」申請者の増加 ○「学校から進路に関する情報や指導を十分受けている」80%以上	進路課 各学年
		○豊かな学力の育成と適切な進路指導を行う。 ・模擬試験の計画的な実施と事前事後指導の充実 ・自習環境の整備とweb教材の活用の推進	○生徒自らが立てる進路目標実現率 90%以上 ○難関国公立大合格者 35 人 ○国公立大合格者 120 人	
キ	生徒を鍛え、生徒の自己実現を支援することができる、高い指導力をもつプロの教師集団を目指す。また、組織を支える教職員一人一人のワークライフ・バランスの保持・向上に努める。	○観点別学習状況の評価の<u>更なる改善</u>を行う。 ○授業見学や授業リサーチ、学びの基礎診断の状況を把握し、職員への呼び掛けを行う。 ○ICT活用や将来を見据えたアクティブラーニングに取り組んだ授業を実施する。 ○人権教育に関する情報を提供し、職員の人権意識を高める。 ○外部研修会の情報を提供し、参加を促進する。	○評価の方法・課題等について情報共有を行う。 ○中等部・高校間の授業見学率 100% ○授業リサーチの実施 ○ICT活用について他校等における事例の情報共有を行うとともに、研修会を通じて、アクティブラーニングの取組が活発化する。 ○人権教育に関する情報提供 1 回以上 ○外部の教科研修会への参加者 10 名以上 ○「学校に信頼できる教師がいる」80%以上	研修課 各教科 各学年

様式第1号

	取組目標	達成方法（取組手段）	成果目標	担当 部署
		○定時退勤日（原則水曜日）の実施を奨励する。 ○こまめな声掛けを行い、月 80 時間以上の時間外勤務従事者を減らす。	○管理職からの声掛け 100% ○月 80 時間以上の時間外勤務従事者 5%以下	管理職
ク	「魅力ある学校づくり」を進め、中高一貫の特色を生かした信頼される教育体制の充実に努める。	○6ヵ年の指導計画（シラバス）に基づき、中高連携を意識して指導を充実させる。 ○授業、部活動における中等部教員と高校教員の兼務・交流を活性化させ、一貫教育を推進する。 ○中高合同で生徒支援委員会を行う。	○「シラバスから授業の年間計画が分かる」80%以上 ○中高教員の乗り入れ 8人以上 ○生徒支援委員会 年6回以上	教務課 保健課 進路課
		○6年間を通じた進路指導を行う。 ○高3が中3を指導する先輩チュートリアルを実施する。 ○高3担任による中3の面接指導を行う。	○「3年間または6年間を通じた進路指導計画について知っている」80%以上	
ケ	コンプライアンスの遵守に配慮するとともに、情報の発信を積極的に行い、生徒・保護者・地域の人々から信頼される学校経営に努める。	○教育活動の見直しと改善を図るために、学校運営協議会において意見聴取を行い、その結果を公開する。	○「学校の教育活動に信頼感を抱いている」 保護者 90%以上	管理職
		○教育活動の紹介と情報提供のために、コンプライアンスの遵守に配慮したホームページの内容の充実と迅速な更新を行う。	○ホームページの 年間更新 100 件以上、 アクセス数 50,000 件以上	図書・ 情報課
		○学校説明会やオープンスクールの内容・日程を検討し、より効果的な広報を実施する。	○「学校説明について分かった」参加者 90%以上	総務課
コ	教育目標を達成するため、各目標具現化の柱の遂行に係る適切な財務執行を図る。	○電気使用量等、経費削減の徹底と学校経営予算の計画的、効率的な執行を行う。 ○法令、コンプライアンスを遵守した適正な事務処理を行う。	○節電等経費削減の周知を徹底し、光熱水費使用量を、令和3年度を基準に削減する。 ○監査、検査等での指摘事項 0 件	事務室